

2023年度 青桐会 大学との意見交換会 追加質疑応答

【就職関連】	質問	回答
1	公務員志望者の学生数、就職比率について教えて欲しい。また、質問・要望に対する回答内容に補足があるようなら教えていただきたい。	公務員、および独立行政法人を希望している学生の割合は16.9%である。その内、公務員として就職したものは6.2%である。内訳の通り、行政職への就職が伸びているため、講座について改革し、更に数字を伸ばしていきたいと考える。
2	部活動をしている学生に合わせた就職支援について、支援に対する学生の反応や、実施したアンケートによるガイダンスの改善の例があれば教えて欲しい。	東松山校舎を中心に行っている。学生は運動部の経験を活かした就職を希望しているため、大学内にエージェントが入り込んでいる。キャリアセンターが薦めるような企業であればよいが、そうではない企業を推薦される場合もある。実態をクラブごとに調査し、スポーツ振興センターと協力して注意喚起を行い、キャリアセンターの職員が指導者と話すなどして対応している。
3	Lo活の案内はどのように学生になされているのか。また、案内の時期についても教えていただきたい。	案内については学内の掲示とDBポータルを使っているが、メールをみてもらえないため、キャリアセンターのLINEの登録をお願いしている。行事の周知については学部の先生を通じて案内もしている。今年11月に行ったイベントに関しては、案内は10月に行った。今年のテストケースでは8枠の相談枠のうち、5枠相談があった。
4	留学先で学生と大学がコミュニケーションを取れるツールはあるのか。	メールを中心に行っていたが、現在はオンラインを通じて日本にいる学生と同様のサービスが受けられると思う。

【教務関連】	質問	回答
1	学部によって受けられる授業が異なること、語学に限り学部を問わず選択の門戸を広げることは教育課程上、難しいことは理解できた。他大学の動向が分かれば教えていただきたい。	他大学の情報は収集すべく動いているが、今すぐにはわかりかねる。カリキュラム編成は大学独自に委ねられている分と、文部科学省の指導に基づくものがあり、他学部の授業に入り込んで授業を受けるということは認めにくい状況であると思う。体系的に学べるようにカリキュラム編成を検討していきたい。
2	会員より教授からのパワハラがあり、学生支援センターに相談したとの報告があった。このような相談は年間どのくらいあるのか、またどのように対応されているのか知りたい。	<p>ハラスメントはいくつか確かにあり、教授から学生へ、学生から学生へと行われたものがある。相談窓口を複数設けており、学生支援センター学生相談室を中心に相談を受けつけている。学生相談室で解決できるもの、学部に調査して教授に聞き取りをするもの、ハラスメント委員会に諮るものとレベルを分けて対応している。</p> <p>ハラスメントは許されることではなく、厳しく臨んでいるつもりである。学生からの相談は年に2, 3件あるのが事実であるが、内容的にはセンシティブなため明言は控える。学生から相談があった際は、学生の意向を踏まえて当該学科の学科主任に報告し、当該教員にヒアリング、面談をし、改めていただく。</p> <p>当該教員から謝罪されれば終わりというケースと、もう少し特別な処置が必要なケースがある。学生からの相談は学生支援センターに来られることが多く、初動として問題ないが、学園全体の組織としては人事課がハラスメントについては所轄している。大学のホームページで「ハラスメント」と検索すると、フロー図が掲載されている。ただ、人事課に学生が出向くのはハードルが高いただろうと考え、多数の窓口を設置している。各キャンパスごとに相談員を7, 8名配置している。また、学生支援センター、学務事務室、学務部も窓口になっている。</p> <p>大学関係者に相談しにくいことも考え、学外の相談窓口も設けている。窓口についてはホームページに掲載している。加えて、学生支援センター近辺にカードを設置し、相談窓口について周知している。</p> <p>所轄の人事課にステージが移る場合は、問題調整等委員会で公式に調整し、懲戒などの処置を行う。</p> <p>懲戒などに至った場合は、大学のホームページで公表する。</p>

【学生生活関連】	質問	回答
1	今後、食堂の座席を増やす計画はあるか。	<p>板橋キャンパスについては2社食堂があったが、コロナの影響で1社が撤退した。それを補うためにキッチンカーや、こども食堂のお弁当の配布を行っている。1号館地下1階の学生自由ホールは混雑していない。1号館1階の食堂もお昼の開始後、15分～20分は混んでいるが、その後は比較的緩和されている。</p> <p>東松山キャンパスについては、第一厚生棟1階、2階の生協食堂を中心に、3号館でキッチンカーとお弁当販売を行っている。3号館にはセブンイレブンも入っているため軽食等を購入できる状態である。生協食堂には7号館でもお弁当の販売等を行ってもらっている。ピロティや5号館のMフロント、キャンパスプラザのリニューアルした木製ベンチなどで食べてもらっている。</p>
【留学関連】	質問	回答
1	留学に行かせたい気持ちはあるが、実態が分からない。体験レポートのようなものを見聞きすることができれば、子供にも勧められると思う。	国際交流センターとしては、4月のガイダンス時に全学年を対象に留学のガイダンスを行っており、その際に留学経験者の体験談を話してもらっている。1年間の留学中に3回のレポート提出を義務付けており、キャリアセンターのHPで随時更新している。保護者からの問い合わせはメールや電話で受け付け、保護者と直接担当者が面談をさせてもらっている。利用して欲しい。
2	他大学は留学の勧誘メールが保護者宛てに来る。メールには保護者向けの説明会のリンクが貼られており、そのような動画を見ると、子供に留学についての後押しをすることができると思う。大東文化大学でも保護者向けの説明会をZoom等で実施したり、その動画をHPにリンクしたりすることを検討してもらえないか。	参考にさせていただき、今後検討していく。

【広報関連】	質問	回答
1	地方の保護者、学生にとっては大学の知名度は重要視されると思う。引き続き広報展開をお願いしたい。	<p>コロナと経済的な問題により、私立大学であったものが公立大学になってきており、自宅から通える便利な大学が多くなってきた。文部科学省からの規制により、都内に新しい学部を2028年まで設置できないということもあり、奨学金試験を実施し、それを呼び水として広く優秀な人材を集めたい。</p> <p>広報費に関してはコストパフォーマンスが見えづらいため、どこまで費用をかけるか難しい。現在は関東近県の地域からの入学者が8割を占めているが、全国から入学者を集めたいと考えている。</p>
2	大きな大会だけでなく、地方で開催される部活動なども取り上げていただきたい。	<p>ニュースで取り上げられるようなものは、すぐにホームページに掲載することができる。学生の活躍が多岐に渡っているため、情報をいただければ、掲載する可能性を探っていく。</p> <p>スポーツ系の部活動に比べて、文科系の部活動については露出が少ないことは学生支援センターでも認識しており、センター内の運営委員会に諮り、文科系のホームページを本年度中に強化することが決まった。また、課外活動に参加する学生が減っていることを再生させることが大きなテーマである。大東祭実行委員は100名程度がいる。昨年度の大東祭には5,000人余りの来場者があり、コロナ以前と遜色ない数であった。本実績は青桐会より青桐賞をいただき、学生達も大いに喜んでいて。今年の大東祭には7,000人以上の来場者があった。神木隆之介さんのトークショーがあり、チケットは完売した。</p> <p>今後もホームページによる広報や、大学の知名度をあげるだけでなく、大学の信用が口コミで広がり、広告がなくても「知る人ぞ知る良い大学」を目指す。加えて、広報しないと始まらないとも考えている。</p>

【その他】	質問	回答
1	DAITO VISION2033について簡単に紹介していただきたい。	継続性を持って、新しい軸で展開していきたいと考えている。校舎が二分されており、利便性の低さを指摘されることから、4年間一括校舎をシミュレーションするなど、努力しており、非常に重要なテーマであると考えている。また、18歳人口が激減しているため、教育の充実や新しい視点での付加についても考えていく。
2	授業料のクレジットカード払いについて検討していただきたい。	回答文書では予定はないと明言しているが、キャッシュレスの時代に変わってきているため、学内のキャッシュレス化も含め、状況をタイムリーに捉えて継続的な課題として認識していく。
3	卒業式に保護者の参加は可能なのか。また記念品についても配慮いただきたい。	コロナのため、現4年生は入学式ができなかったことを大学としても心苦しく思っている。卒業式は東京国際フォーラムで盛大に行いたいと考えている。保護者については2名までの制限はあるが、参加可能である。記念品については大学全体としては用意していないが、用意している学部もあるようだ。